



2007年11月26日 月曜日
日刊第20477号

発行所 日本共産党中央委員会
東京都渋谷区千駄ヶ谷4の26の7
〒151-8586 電話 03(3403)6111

定価(税込) 100円
日刊月2900円(郵送は別途送料1380円)1部100円
口曜版月800円(同送料234円)1部200円
振替 00180-8-194897

ファクス 中央委員会 03(5474)8338
赤旗編集部 03(3350)1904

日本共産党のホームページ

©日本共産党中央委員会2007年

http://www.jcp.or.jp/

75歳以上医療 年間保険料

全国平均 8万4288円

厚労省試算を1万円上回る

共産党 4月実施中止要求

※年四月実施予定の七十五歳以上を対象にした後期高齢者医療制度で、すべての都道府県の一人あたりの保険料(案を含む)がわかりました。厚生労働省が、平均的な厚生年金額」としての年金収入、百八万円の単身者でみると、全国平均の年間保険料は八万四千二百八十八円。厚労省試算の七万四千四百円を一万円近くも上回る結果となっており、高齢者に重い負担を強いる同制度の問題点が浮き彫りになりました。

最高は福岡県の十万二千七百五十四円。高知県(九万七千四百九十九円)、香川県(九万七千七百円)と続き、四十二道府県で厚労省試算より高くなっています。最も低いのは長野県の七万二千七百円でした。年金収入が同じであるにもかかわらず、福岡県と長野県では保険料額に年間三万円もの差が生まれることになりました。

(別表)
一方、各都道府県ごとの平均的な年収にもついて算出した「平均保険料」でみると、最も高いのは、東京都の十万九千九百円、神奈川県(十万二千二百円)、大阪府(十万一千四百四十九円)という順になっています。実際の保険料は、収入や世帯構成などによって一人ひとり異なりま

保険料は、都道府県ごとに設置された広域連合(全市町村が加入)で決めることになっています。二十五日現在、二十五の広域連合が議会を開き、保険料を定めることになり、少なくとも来年四月からの実施中止を求めています。

後期高齢者医療制度の都道府県別保険料(年額:円)

都道府県(高い順)	年金208万円の単身者	一人あたり平均
福岡	101,750	④ 98,210
高知	97,409	81,602
香川	97,000	90,078
神奈川	96,840	82,100
北海道	96,100	86,280
大分	95,390	79,572
大分	95,155	③ 101,449
山口	94,850	91,000
佐賀	94,600	79,513
熊本	94,100	77,641
鹿児島	93,300	74,026
石川	91,295	84,581
東京都	91,010	⑤ 95,007
兵庫県	88,309	93,100
福井	87,150	77,950
和歌山	86,900	75,927
岡山	86,800	80,443
山梨	86,525	53,676
新潟	86,310	94,000
長野	85,300	72,687
愛媛	84,830	74,390
富山	84,200	71,660
徳島	82,050	75,891
青森	81,836	70,331
奈良	81,200	64,417
和歌山	81,100	83,400
愛媛	81,000	93,205
福岡	80,900	約 67,100
神奈川	80,830	② 102,200
島根	80,090	66,118
群馬	80,000	73,100
山梨	79,955	75,593
岐阜	79,737	80,934
茨城	79,262	69,355
山梨	78,750	68,904
宮城	78,000	70,478
秋田	77,580	60,000
栃木	77,000	89,600
千葉	76,500	81,110
滋賀	75,850	72,955
山梨	74,900	59,565
山梨	74,600	63,192
新潟	74,103	68,077
三都府	73,880	① 102,900
静岡県	73,600	75,614
静岡	72,200	58,433
岩手	71,700	65,017

各広域連合の発表などをもとに作成
○内の数字は平均保険料の高い順位
案を含むため今後変更の可能性あり